

線材受け入れ

日本製鉄（株）釜石製鉄所から供給された線材を受け入れます

コイル No など、線材納入データと照合します

伸線機

コイル状の線材を細く長く伸ばして巻取ります

焼鈍

焼鈍によって粘り強く、しかも、加工しやすいよう調質します

酸洗

線材表面の酸化被膜（スケール）を除去します

亜鉛めっき

規格に応じて厚・薄・合金めっきを行います

巻取り

亜鉛めっき鉄線を巻取ります

製品置場

出荷前の製品をストックしておきます

検査

サンプル抽出検査を1コイル毎に行います

めっき線製造規格・コイル No などを確認します

めっき線コイル No が付与されます

製品検査データを登録します

めっき線製造規格が登録されます

鉄線コイル No などが付与されます

生産管理システムで一元管理

線材受け入れから伸線加工、亜鉛めっき工程、検査、そして、製品の出荷までを携帯端末と結ばれた生産管理システムで一元的に管理しています。これにより製品から素材の線材までを、遡及して追跡することができます。

